

信州大学教育学部一般選抜（前期日程） 令和4年度入試（令和3年度実施） 面接試験の概要

面接試験を以下のように行います。出願時・受験時の参考にしてください。

■面接開始前まで

- あらかじめ指定された時間に控室に集合し、当日指定された席に座ってください。試験開始時刻までお待ちください。
- 控室の担当者が入室し、面接試験の方法について説明します。
- 面接開始時刻になったら、グループごとに誘導の担当者が試験室に案内します。
- 1グループの人数は3～6名です。自分の受験番号が呼ばれたら、筆記用具と受験票を持ち、誘導の担当者の指示に従って集合します。
- 試験官の指示で、試験室の指定された場所に着席します。

■面接

- 試験官の指示で、受験番号を確認します。
- 問題用紙が配布されます。問題用紙を読み、面接の手順を確認します。
- 別の問題用紙とメモ用紙が配布されます。試験官の指示で問題用紙を黙読し、課題に関連して、自分の意見をまとめます。5分程度を予定しています。
- 課題の内容は、算数の授業で電卓を使ってよいか、小学校で清掃を無くすべきかなど、学校教育関連の問題を予定しています。一般的な時事的問題であることもあります。
- 日常から、学校教育関連の問題や一般的な時事的問題についての関心を高め、ニュースやインターネット、書籍などから情報を得て、自分の考えをまとめておきましょう。
- 試験官の指示で、1人1分以内で、1人ずつ意見を発表します。この際、メモ用紙を使ってかまいません。発表の順番は試験官が指示します。
- 課題について、グループディスカッションをします。メモ用紙を使ってかまいません。ディスカッションの時間は15分程度です（ただし、課題により増減します）。
- 意見が異なる場合には、異なる部分を中心としたディスカッション、意見が一致した後は、一致した意見を多くの人に伝える方法を考えるディスカッションを行う予定です。
- 試験官の指示で、試験室から退室し、控室に戻ります。

■面接終了後

- 面接試験終了時刻（すべてのグループの面接の終わり）まで、もとの座席で待機します。
- すべての面接終了後、控室の担当者の指示で解散します。

■その他

- 面接試験の方法は、動画でも案内しています。信州大学教育学部ホームページからご覧ください。
- 面接で使用する言語は日本語とします。
- 障害等のために受験上の配慮が必要な受験生がいる場合、合理的配慮のため、手順を一部変更する可能性があります。
- 試験実施上の都合により、若干の変更の可能性があります。ご了承ください。

以上